

ひなたぼっこ通信

2019年
10月号



「初めての世界」2階
私がひなたぼっこに入社して半年が経ちました。この半年間はあっといふ間で自分でも成長を感じられる日々でした。

入社したての私は、何もかもが初めての世界で何をすることも戸惑う事ばかりでしたが、マンツーマンで教えてくれる先輩がついてくれたので、とても心強く、仕事を続けてくる事ができました。

最初は目の前のことでもいいいいばいばいで一つの事になり時間がかかってしまいました。それでも温かい目で見守ってくれていた先輩職員さんには感謝しかありません。私がぼけた変な事を言ってもしっかりとしたツッコミをいれてくれて何があってもすぐ相談に乗ってくれ、本当に支えてもらいました。

9月から夜勤研修が始まり、また新しい事を一つずつ覚えるのは大変ですが、出来る事が増えていくことがとても嬉しくて楽しいです。

最近では何をすることも体力が奪われる暑さの中、利用者さんとの絵をしたり、間違い探しや計算練習をしたりと頭を使うことをして、一緒に脳下

しをしています。普段使わない凝り固まった頭をほぐして読書の秋に備えたいです。(N)

「ケアハウス秋祭り」1階

九月に入ると朝晩は寒くなってきましたが、まだまだ残暑は厳しく昼間は夏場のように気温も上がっています。体調管理には気を付けていきたいですね。

九月十四日(土)ケアハウスひなたぼっこ秋祭りが盛大に開催されました。利用者様が作った作品の展示や、毎回綺麗なお花を生けて下さる利用者様もいらっしやいます。イベントとして、大正琴の演奏、子供達のダンスもあり心にしみる演奏、若いパワーを頂き楽しい時間を過ごしました。

綿あめ、ポップコーン、焼きとうもろこし、輪投げ、かぼちゃの重さ当て、、、などなどお腹も満足しました。

今年は何も初めてアルパカさんが2頭来てくれてフカフカの毛並と長いまつげ、愛らしいお顔にとても癒されました。私も初めて近くで見て、少し怖かったけど触ってみました。2頭ともとても大人しく慣れていま



した。慣れていないとツバを吐いたり噛み付いたりするみたいです。慣れるまでに信頼と調教が大切で必要とスタッフの方が言っていました。

そのかわいいアルパカを、ある利用様がイラストに描いてくださいました。どうです。アルパカの可愛さが伝わってきませんか。私には、書いてくださった利用者様のアルパカへの愛までが感じられます。せっかくなので近くにあるアルパカ牧場です。今度、まだ季節のいいうちに利用者様をお連れしてもいいなと思います。そんな、楽しみまで与えてくれたアルパカ牧場のスタッフの皆さんに、改めて有難く思いました。(M)

「敬老会」

九月十六日は皆様の長寿をお祝いする敬老の日でした。日頃からお世話になっているご利用者様へ感謝の気持ちを込めて、ささやかですがお祝いをさせていただきます。

歌の得意な職員からは皆様の大好きな歌のプレゼントがありました。この日はドレスアップして登場し、いつもと違う雰囲気職員に「ありゃ誰だ?」「見たことあるような、ないような...」「きれいな声だねえ」と、たくさん感想をいただきました。

昼食は特別メニューとなり、お一人ずつ重箱に詰めてお出ししました。何が入っているのか皆様もワクワク、ソワソワ。蓋を開けると大きなおはぎや赤シソの寒天寄せなど、いつもと違うメニュー

ーに大変喜ばれていました。普段から食が細い方もこの日はペロリと完食されていました。私たちがも皆様のそんな姿を見られることが、喜びを共有できることが大変嬉しく思います。宅幼者所らしい笑顔あふれる敬老会になりました。(K)

これは美味しそうです。読者の皆さんもきっと、食べてみたかったことでしょう。



グループホーム

「敬老の日」1階

グループホーム1階では、お祝い事やイベントの日など月に一回ほど普段と違った昼食を用意させて頂いています。

先月は九月十六日に敬老の日がありました。ご利用者様のリクエストの焼きうどんも献立に入れて、花形に整えた薩摩芋ご飯や手作り玉葱ドレッシングをかけたカボチャサラダを添えて、色合いの良い鮮やかなお膳となりました。

「美味しいな」「ほっぺが落ちる」といけな」と利用

用者様が顔をほころばせている姿に、私たち職員も嬉しく思いました。次回の食事会も楽しみになりそうです。

敬老の日とは「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う事」とされています。私達職員も、ご利用者様に敬意を払いながら、これから健康的なご本人様らしい生活を送って頂けるよう努めてまいります。

無料塾とフードバンク 9/29(日)

9月も無料塾とフードバンクの取り組みを行いました。集まって来てくれた子ども達は10名！楽しく勉強した後は手作りピザをみんなで食べました。「僕、4枚食べます！」と言ったお子さんもいましたが、はてさて・・・

フードバンクの取り組みでも10名の方に、食料をお届けすることができました。

次回は10/27(日) 10時から

おいひい！！



デイサービス

「ほめるってむずかしい。」

利用してくれているお子さんについて、保護者の方と行政などを交えて定期的に会議が開かれます。3か月に1回や半年に1回などの間隔で会議をします。

その会議の話の中で、「ほめるのが難しい」というお母さんの訴えをお聞きする時があります。お聞きすると「だって、何もしないんです。」とか「ほめることがない」などと言われます。その時は、「どんなことでもいいから頼みましょう。」とお話します。お皿1枚でもいい、片付けを頼み、やってくれたら「えらいね」なんて言ってはダメです。「助かった。ありがとう。」と言いましょと、お母さんに言います。「えらいね。」なんて、上から言われていることを、子どもは敏感に感じます。子どもが求めているのは実は「評価」よりも「共感」です。最悪言葉は「やればできるじゃない」です。

大好きなお母さんから「助かった」と言われたら、こどもは自分の「肯定感」を実感することができます。次の意欲につながっていきます。

発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

理事長 森 正明

〒399-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 0266-61-2635

FAX 0266-61-2636

